

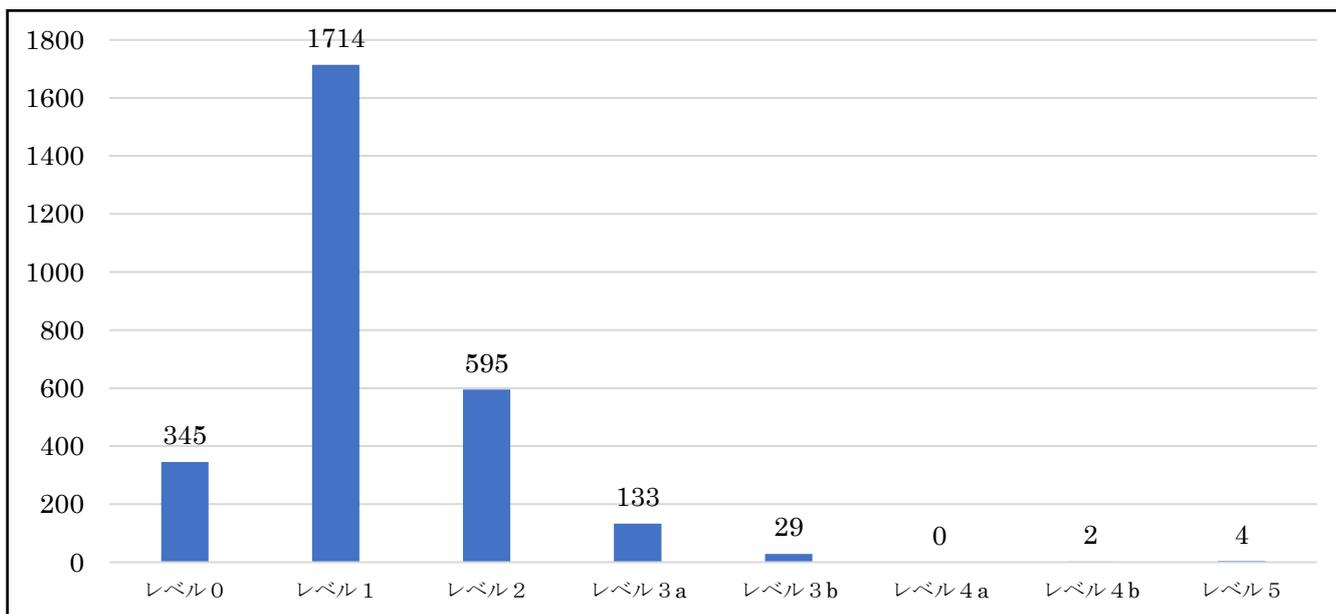
## 2023 年度 医療安全報告（2023 年 4 月 1 日 ～ 2024 年 3 月 31 日）

医療事故報告件数：2822 件（昨年度：2521 件）

【インシデント 2787 件（昨年度 2502 件）】 【アクシデント 35 件（昨年度 19 件）】

医療事故報告は、病床数の 5 倍以上の提出が望ましいといわれている。2023 年度の医療事故報告件数は 2822 件、病床数 369 床の 7.5 倍であり、望ましい報告数であった。インシデントレベル 3b 以上のアクシデント報告は 35 件であり、2022 年度から 16 件増加している。この報告書には、同一事例に対し複数の報告があることも影響している。また、医療事故報告書件数が増加していることから、報告する文化が醸成されつつあると考える。事象内容別報告では、「薬剤」に関する報告数が多く過去 10 年間でも同じ傾向にある。継続した課題であり、再発防止に向け多職種で検討・予防策を実施する必要がある。

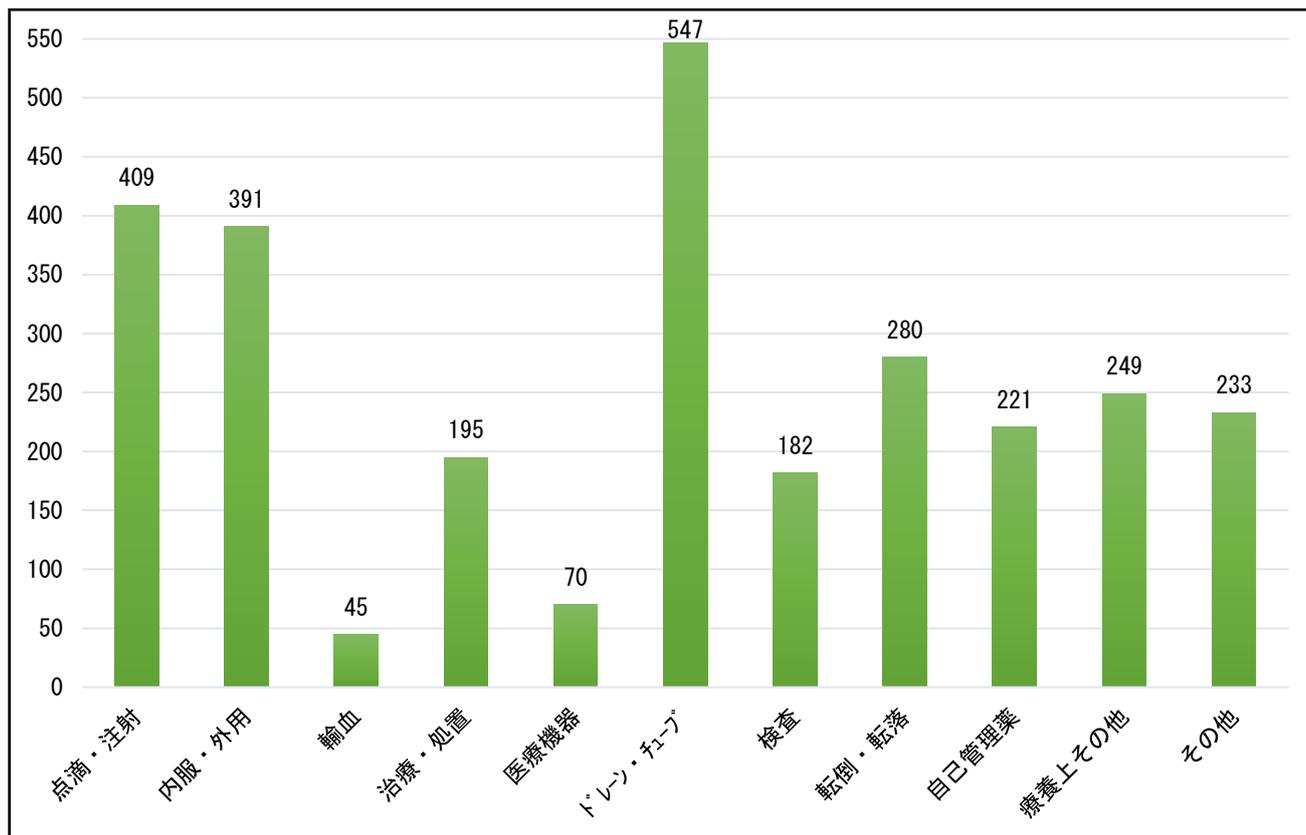
### 1. レベル別報告書件数



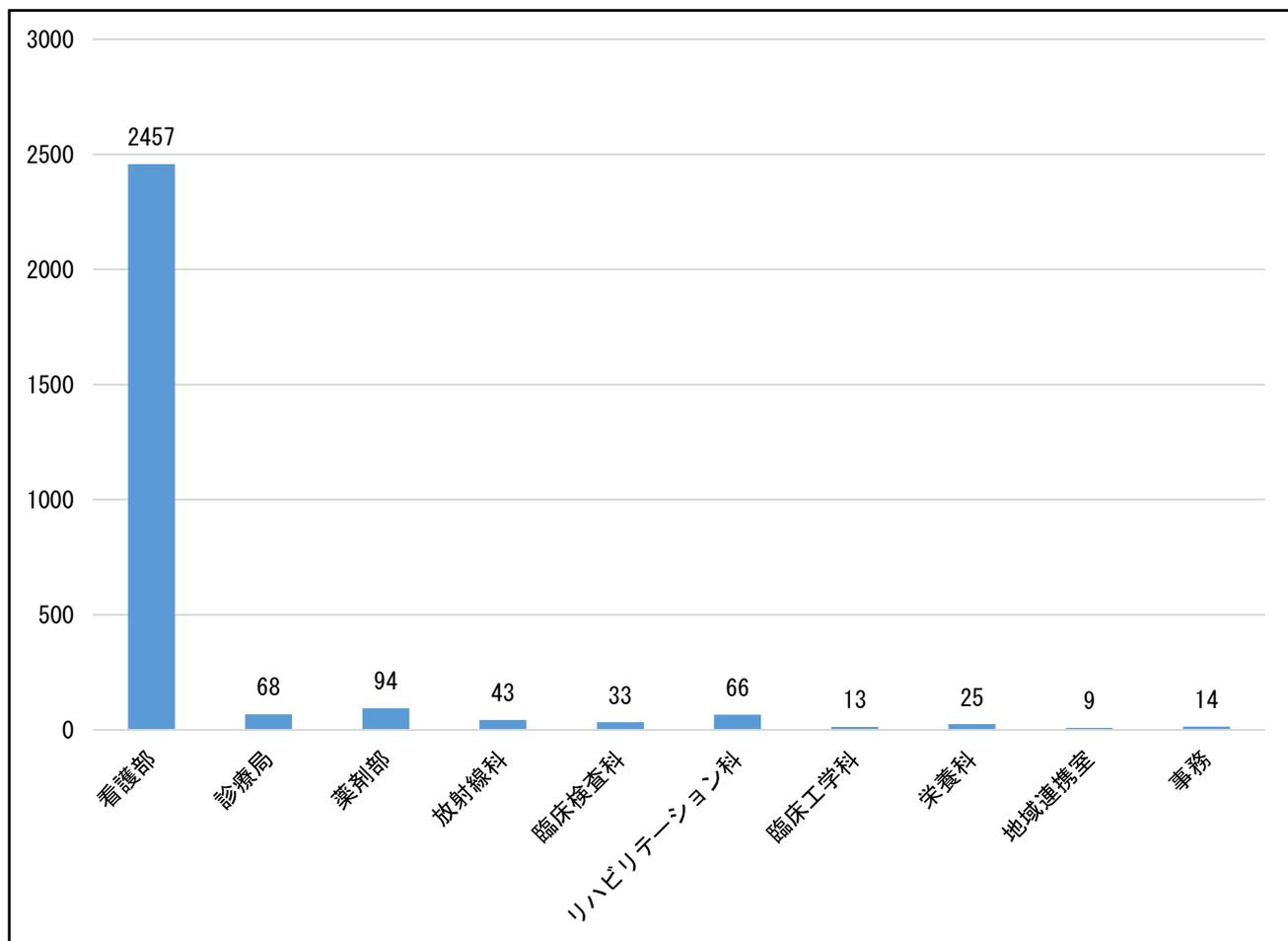
※参考 身体影響度のレベルを以下の 0～5 レベルに分類する

レベル		障害の継続性	障害の程度	障害の内容
レベル 0	インシデント	—		不適切な医療行為等が実施されなかったが、実施されていたら何らかの影響を与えた可能性がある場合
レベル 1		なし		何らかの影響を与えたが、被害がなかった場合
レベル 2	アクシデント	一過性	軽度	観察強化、バイタルサインの変化または検査の必要性が新たに生じた場合
レベル 3 a			中等度	簡単な処置や治療を要した場合 (消毒、湿布、皮膚の縫合、鎮痛剤の投与)
レベル 3 b			高度	濃厚な処置や治療を要した場合 (バイタルサインの高度変化、人工呼吸器の装着、手術、入院日数の延長、外来患者の入院、骨折など)
レベル 4 a	インシデント	永続的	軽度～中等度	永続的な障害や後遺症が残ったが、有意な機能障害や美容上の問題は伴わない場合
レベル 4 b			中等度～高度	永続的な障害や後遺症が残り、有意な機能障害や美容上の問題を伴う場合
レベル 5		死亡		死亡した場合

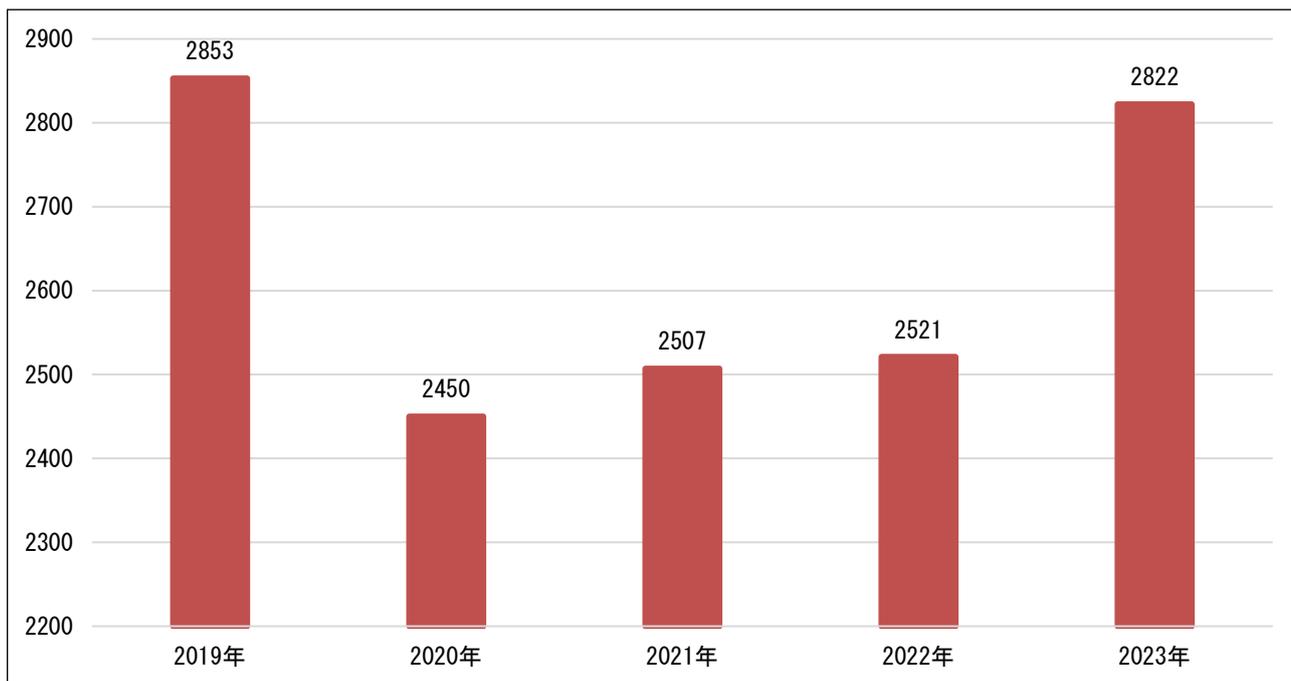
## 2. 報告内容別件数



## 3. 報告者別件数



#### 4. 報告件数年度別推移



#### 5. 内容別報告割合

